

# ちとせ 市議会だより

No.174



「長都の夜明け」(桜木2丁目 五十嵐 <sup>としあき</sup> 壽秋 さん 撮影)

まだまだ寒い日が続きますが、2月も中旬を過ぎるとそここに春の兆しが見えてきます。空気の匂いや、屋根のつらら、道端の水や、木の芽にもしっかり春まじかを感じる事が出来ます。さあ春を探しに出かけませんか。〈撮影者のコメント〉

## 平成 28 年 第 4 回 (12 月 ) 定 例 会

### 目 次

- 定例会のあらまし、議決結果等 ..... 2 ～ 4 ページ
- 各委員会の活動状況 ..... 5 ページ
- 一般質問、常任委員会の行政視察報告 ..... 6 ～ 15 ページ
- 議会事務局からのお知らせ等 ..... 16 ページ

# 定

## 例会のあらまし

### ●平成28年度補正予算等を可決

平成28年第4回定例会は、12月1日から12月14日までの14日間の会期で開催されました。

この定例会では、平成28年度一般会計補正予算、条例の制定など、報告4件、議案26件、諮問2件が提出されました。

このうち、補正予算にかかる2件の議案については、14人の委員で構成する補正予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。

その結果、継続審査となった2件の議案を除き、平成28年第3回定例会提出議案1件を含む議案等を原案のとおり可決、同意し、諮問については可と決定しました。

今定例会の主な議案等の内容は、次のとおりです。

#### 補正予算

##### ◆一般会計補正予算(第3回)

歳入歳出予算の総額に  
6億6千508万1千円を追加

##### 主な事業費

・心のふるさと千歳基金積立金

846万2千円

・臨時福祉給付金給付事業費

2億4千125万2千円

・障害児給付事業費

3千236万1千円

・生活保護事業費

1億8千714万6千円

・C経路舗装補修事業費

321万8千円

・中学校営繕事業費

186万5千円

##### ◆病院事業会計補正予算(第1回)

・地域連携ネットワークシステム事業費

4千644万円

##### ◆一般会計補正予算(第4回)

歳入歳出予算の総額に  
5千679万4千円を追加

##### 主な事業費

・防犯灯LED化促進事業費

225万8千円

・市内公園整備事業費

540万円

・北陽プール改修事業費

604万8千円

#### 条例

◆千歳市議会議員定数条例の一部を改正する条例

議員定数を2人削減し、23人とするために制定。

◆千歳市議会議員及び千歳市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

選挙運動用自動車の使用並びに選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担額に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成28年8月8日に行われた人事院勧告に鑑み実施

される国家公務員の給与改定等に準じ、本市職員の給料、扶養手当及び勤勉手当に所要の改正を行い、並びに人事評価制度の完全実施に伴い、昇給の基準及び号俸に所要の改正を行うために制定。

◆千歳市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例

雇用保険法の一部改正に伴い、退職手当の支給の条件を緩和し、及び引用条文に所要の改正を行い、併せて条文の整備を行うために制定。

◆千歳市税条例及び千歳市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正等に伴い、市民税、固定資産税、市たばこ税及び入湯税について所要の改正を行うために制定。

◆千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例

名寄帳の交付に係る手数料を定め、並びに公簿、地籍図その他の図面等の謄抄本の規格及び交付手数料に所要の改正を行い、併せて条文

の整備を行うために制定。

◆千歳市認定こども園条例の一部を改正する条例

末広小学童クラブ及び北陽小学童クラブを廃止し、並びにあすなる学童クラブ、たいよう学童クラブ及びここにこ学童クラブを設置するため制定。

【指定管理者】

千歳市流通1丁目4番7号  
㈱クリーン開発  
代表取締役 加藤賢二

【指定管理者】

札幌市中央区南1条西6丁目  
太平ビルサービス㈱札幌支店  
常務取締役支店長 狩野伸三

【施設の名称】

千歳市スポーツセンター  
千歳市体育施設（千歳市民球場ほか24カ所）  
千歳市開基記念総合武道館

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市東雲町2丁目34番地（公財）千歳市体育協会  
会長 駒澤文雄

【指定管理者】

恵庭市西島松41番2（公財）道央農業振興公社  
理事長 松尾道義

【施設の名称】

千歳市温水プール

【施設の名称】

千歳市東雲会館  
千歳市末広会館

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市柏台南1丁目3番地の1  
㈱苫小牧スコレ千歳支店  
代表取締役 廣野勝利

【指定管理者】

千歳市本町3丁目11番地（公社）千歳市シルバー人材センター  
理事長 本宮輝久

【施設の名称】

美笛キャンプ場

【施設の名称】

千歳市公共広場（千歳市北大通広場ほか10カ所）  
千歳市都市公園（春日公

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【施設の名称】

千歳市交通安全教育施設

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

園その他の街区公園ほか6カ所）  
【管理期間】  
平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市上長都1057番地7  
千歳市環境整備事業協同組合  
代表理事 山田耕作

【施設の名称】

千歳市交通安全教育施設

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【指定管理者】

千歳市流通1丁目4番7号  
㈱クリーン開発  
代表取締役 加藤賢二

【指定管理者】

千歳市グリーンベルト地  
下駐車場

【施設の名称】

千歳市グリーンベルト地  
下駐車場

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【指定管理者】

札幌市中央区大通西6丁目10番地1  
セントラルリーシングシス  
テム㈱  
代表取締役社長 本多貞直

◆市道路線の変更

新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業により、美々泉沢線を変更。  
【変更前】  
起点く美々990番66地先  
終点く泉沢藤の沢線

【変更後】

起点く道道泉沢新千歳空港線  
終点く泉沢藤の沢線

◆土地改良事業の計画変更

団体営土地改良事業（中央長都地区維持管理事業）の計画を変更。  
【事業名】  
団体営土地改良事業（中央長都地区維持管理事業）

【事業の概要】

農業水利施設（排水機場）の維持管理

【受益面積】

変更前 500 ha  
変更後 269.8 ha

◆道央廃棄物処理組合理約の一部変更

道央廃棄物処理組合理約の一部を変更するため、地方自治法第290条の規定に基づく議会の議決を要する協議。

その他

◆指定管理者の指定

次の指定管理者を指定。

【施設の名称】

千歳市青少年会館

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【施設の名称】

美笛キャンプ場

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

【施設の名称】

千歳市公共広場（千歳市北大通広場ほか10カ所）  
千歳市都市公園（春日公

【管理期間】

平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

# 人 事

## ◆次の件に同意

◎固定資産評価審査委員会  
委員に

河野 宏之さん（再任）

## ◆次の件を可と決定

◎人権擁護委員候補者に

庄司 智子さん（再任）  
谷田 秀明さん（新任）

# 意見書

## 第4回定例会において、

議員提案された意見案3件を原案可決しました。  
意見書は、内閣総理大臣ほか関係大臣などに送付し、実現されるよう要望しました。

◆障がい児（者）の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書

◆「新たな高校教育に関する指針」の見直しと、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書

## 第4回定例会議決結果概要

事件番号	件名	委員会	議決結果
(平成28年第3回定例会) 議案第8号	千歳市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	議会運営	原案可決
議案第1号	平成28年度千歳市一般会計補正予算について（第3回）	補正予算特別	原案可決
議案第2号	平成28年度千歳市病院事業会計補正予算について（第1回）	補正予算特別	原案可決
議案第3号	千歳市議会議員及び千歳市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第4号	千歳市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	-	原案可決
議案第5号	千歳市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第6号	千歳市税条例及び千歳市税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第7号	千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	総務文教	原案可決
議案第8号	千歳市認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	厚生環境	原案可決
議案第9号	千歳市休日夜間急病センター条例の制定について	厚生環境	継続審査
議案第10号	千歳市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第11号	千歳市駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	産業建設	原案可決
議案第12号	千歳市路線バス補助金審議会条例の制定について	総務文教	継続審査
議案第13号	指定管理者の指定について	総務文教	原案可決
議案第14号	指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第15号	指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第16号	指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第17号	指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第18号	指定管理者の指定について	厚生環境	原案可決
議案第19号	指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第20号	指定管理者の指定について	厚生環境	原案可決
議案第21号	指定管理者の指定について	産業建設	原案可決
議案第22号	市道路線の変更について	産業建設	原案可決
議案第23号	土地改良事業の計画変更について	産業建設	原案可決
議案第24号	道央廃棄物処理組合規約の一部変更について	厚生環境	原案可決
議案第25号	平成28年度千歳市一般会計補正予算について（第4回）	-	原案可決
議案第26号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	-	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	-	可と決定
意見案第1号	障がい児（者）の生きる基盤となる「暮らしの場」の早急な整備を求める意見書	-	原案可決
意見案第2号	「新たな高校教育に関する指針」の見直しと、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書	-	原案可決
意見案第3号	義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充と就学保障の充実、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善に向けた意見書	-	原案可決

## 各委員会の活動状況

11月から12月に開かれた各委員会の活動状況をお知らせします。



総務文教  
常任委員会

▼11月4日(金) 15時  
佐々木雅宏委員長の委員長辞任が許可され、後任に古川昌俊委員長が委員長に互選された。

▼11月18日(金) 10時  
千歳市公共施設等総合管理計画(素案)を含む2件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月2日(金) 13時30分  
第4回定例会付託議案6

件のうち、千歳市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定を含む5件を原案可決とし、千歳市路線バス補助金審議会条例の制定を継続審査とした。  
また、千歳市学校給食センター整備に係る基本調査業務の報告を含む6件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月9日(金) 本会議終了後  
千歳市公共施設等における石綿含有保温材等対応基本方針概要を含む2件の所管事務調査を報告済みとし、行政視察報告について決定した。



厚生環境  
常任委員会

▼11月18日(金) 13時  
指定管理者候補者の選定結果の所管事務調査を報告済みとした。

▼11月28日(月) 13時  
千歳市休日夜間急病センター条例(案)の概要を含

む11件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月2日(金) 14時  
第4回定例会付託議案5件のうち、千歳市認定ことも園条例の一部を改正する条例の制定を含む4件を原案可決とし、千歳市休日夜間急病センター条例の制定を継続審査とした。



▼12月9日(金) 本会議終了後  
コミュニティセンター管理運営業務の概要を含む4件の所管事務調査を報告済みとし、行政視察報告について決定した。

▼12月2日(金) 14時  
指定管理者の指定など第4回定例会付託議案10件を原案可決とし、千歳市耐震改修促進計画の改定についてを報告済みとした。

▼12月9日(金) 本会議終了後  
「千歳科学技術大学の公立大学法人化の検討について」の要望を含む7件の所管事務調査を報告済みとした。



産業建設  
常任委員会

▼11月18日(金) 14時  
企業誘致状況を含む6件の所管事務調査を報告済みとした。

▼11月28日(月) 13時  
水道料金及び下水道使用料の改定に係る千歳市公営企業経営審議会への諮問を含む15件の所管事務調査を報告済みとした。

▼12月2日(金) 14時

指定管理者の指定など第4回定例会付託議案10件を原案可決とし、千歳市耐震改修促進計画の改定についてを報告済みとした。

▼12月9日(金) 本会議終了後

▼11月2日(水) 13時  
平成28年第3回定例会付託議案の千歳市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定を原案否決とした。

▼11月30日(水) 13時  
第4回定例会の議事運営を決定し、意見書の提出および人事案件に係る議案等の取り扱いについて協議した。

▼12月8日(木) 11時  
12月8日(第4回定例会2日目)の議事運営を決定し、意見書の提出および人事案件に係る議案等の取り扱いについて協議した。

▼12月13日(火) 本会議終了後  
12月14日(第4回定例会最終日)の議事運営について決定し、意見書の提出および議会改革について協議した。

▼12月22日(木) 13時  
議会改革について協議した。



議会運営  
委員会

# 市政に

## ついでにの質問

今定例会は、12月8日から9日および12日から13日までの4日間にわたり、一般質問が行われました。これらの質問の中から、主なものを掲載します。質問議員の会派等、および氏名は、次のとおりです。（質問順）

- ☆公明党議員団
  - 田口 博 議員
  - 宮原 伸哉 議員
- ☆ちとせの未来を創る会
  - 松隈 早織 議員
  - 北山 敬太 議員
  - 渡辺 和雄 議員
- ☆日本共産党
  - 佐藤 仁 議員
- ☆無所属
  - 細見 正美 議員
- ☆自民党議員会
  - 岡部いづみ 議員
  - 五十嵐桂一 議員
  - 山口 康弘 議員
  - 山崎 昌則 議員
  - 末村 友幸 議員



公明党議員団

田口 博 議員

### 憲法公布70周年

**問** 1946年11月3日に公布された現行憲法は、人類普遍の原理である国民民主権主義、基本的人権の尊重、恒久平和の3原則を骨格とし、新生日本の針路を指し示す規範となった。この憲法の下、わが国は国際社会への復帰を果たし、戦後復興と経済成長を達成し、平和国家の地位を築いてきた。しかし、憲法は決して不磨の大典ではない。時代の変

化に依りて改正が議論されるのは当然のことである。憲法公布70周年を迎えたことについての市長の所見、憲法改正についての所見および改正に当たっての必要な配慮や手続きについての所見を伺う。

**答** 市長 憲法は、戦後、わが国における平和や民主主義とともに、世界に信頼される日本の地位を支え続けてきた支柱であり、公布から70年という長い年月を思うと、重要な役割やその重みを改めて認識させられるところである。憲法改正は、その必要性や是非をはじめ、憲法のあるべき姿の議論がなされることを期待し、その動向に注視したい。

憲法改正に必要な配慮は、第96条に基づく国会による改正の発議や、その後の国民投票などを経て行われるものと承知している。改正を行う場合、国は必要性などを国民に丁寧に説明し、国会での議論や国民の理解を深めながら進める配慮や手続きが何より重要であると考える。

策は難しいとは認識するが、今や犬や猫などのペットは、単なる愛玩動物ではなく、家族の一員、人生の伴侶であるとの認識が高まっている。千歳市の避難所マニュアルには、ペットは敷地内の屋外にスペースを設けて飼育する、余裕がある場合には、屋内でも可能とある。

### 災害発生時における避難所運営

**問** 災害で被災するのは被災者だけではなく、一緒に暮らしてきたペットも不由な生活を強いられる。人命最優先の防災対策の中で、ペット動物の避難対

策は難しいとは認識するが、今や犬や猫などのペットは、単なる愛玩動物ではなく、家族の一員、人生の伴侶であるとの認識が高まっている。千歳市の避難所マニュアルには、ペットは敷地内の屋外にスペースを設けて飼育する、余裕がある場合には、屋内でも可能とある。そこで、千歳市は防災訓練でペットを同行した避難訓練をどのように位置付けようとしているのかについて伺う。

**答** 市長 市は、自主防災組織や町内会等が自主的に行う避難所運営訓練を支援してきたが、これまでは人命救助を最優先として行われており、ペットの同行避

難は行われていない。

しかし、当市のルールに基づくペットとの避難訓練を経験しておくことは、実際に災害が起きた際、飼い主が果たすべき役割や責任等を学ぶ貴重な機会となることから、今後、避難所運営訓練を行う町内会等のニーズを踏まえ、ペットを同行した訓練についても支援していく。



### その他の質問

- ・骨髄移植ドナーに対する支援
- ・若年認知症の方への対応

# 議会をのぞいて みませんか！

議会を傍聴することは、千歳市で何が行われ、何が決められているのかを知ることができる一つの方法です。議員の活動状況や、市民の皆さんの意思を市政にどのように反映させているかを知ることができます。当日は、簡単な手続きで傍聴できますので、ぜひ一度、議会に足を運んでみませんか。



## 本会議の傍聴方法

- 本会議は、原則、午後1時から開会いたします。
- 入口で住所や氏名などをご記入の上、入場してください。
- 団体でお越しの場合は、議会事務局までお問い合わせ願います。
- 携帯電話やスマートフォンは電源を切るか、マナーモードにしてください、議場内での通話等のご遠慮願います。
- 開会中は、会議の妨げとならないように静かに傍聴願います。



【 議 場 】



公明党議員団  
宮原 伸哉 議員

### ヘルプカード

**問** 障がいや難病を抱えた方が「人工透析をしています」「コミュニケーションが苦手です」など、必要な支援をあらかじめ記しておき、緊急時や災害時はもとより、日常生活においても、困った際に提示して周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするのが「ヘルプカード」である。

**答** 市長 現在、ヘルプカードを導入している都府県は、同一デザインや記載内容などを標準様式として定め、広域的に利用していることから、北海道が標準様式を定め、統一的に導入を図ることにより、ヘルプカードの効果が発揮されるものと考えます。

している方々が、援助を得やすくするよう、手助けを求める人と手助けできる人をつなぐカードとも言える。市としてヘルプカードの導入および普及の取り組みについての考えを伺う。

**問** 近年、ひきこもりの長期化・高齢化の傾向が顕著になってきている。その実態として、何らかの理由により社会での行き場を失い、その喪失感からひきこもり

### ひきこもり対策



効に活用できるようカードの配布方法や市民への周知、関係機関と連携した効果的な普及啓発活動などの取り組みについて、よく研究を行ってまいりたい。

**答** 市長 行き場づくりに関しては、生活困窮者自立支援制度の就労準備支援事業を社会福祉法人千歳いずみ学園に委託し、本年度より開始した。

**問** 本事業は就労に必要な実践的な知識・技能等の不足だけでなく、社会との関わ

になったケースも多いと聞く。このような社会人経験を持つ方は、生活保護や障がい者にも相当しない、いわゆる制度の狭間はざまにいることから、その行き場を提供することが支援策の一つと考えられる。

その他の質問  
・高齢者の見守り対策  
・夜間中学

ひきこもりの方は、複合的な課題を抱えているケースも多く見られ、きめ細やかな支援が重要であると感じていることから、今後関係機関との連携を十分に図りながら、支援を行ってまいりたい。

りに不安を抱えている等の理由により、就労に向けた準備が整っていない方に対し、基礎能力の形成を計画的に支援することを目的としており、ひきこもりの方は、これまでに1名の利用があった。



ちとせの未来を創る会  
松隈 早織 議員

### 学校司書の契約期間

**問** 学校司書配置の業務委託については、1年の随意契約で実施されている。

教育は国家百年の計といわれており、千歳の未来を託す人材の育成には、長く広い視野が必要なことはいまでもない。読書推進の成果を1年で出すのは無理であり、もう少し中期的な視野で、子供たちの成長を勘案しながら進めてほしい。例えば、2年、3年の契約

期間であれば、学校が作成する年間指導計画や、行事計画に学校図書館を活用する企画を入れていけることになる。

また、次年度については、公募型プロポーザルを実施するのか、違う方法なのかなどを含めて12月現在でもいまだに検討中と聞いている。4月からの進退が、12月1月になってからもわからないということが繰り返されることは、学校司書には生活の不安につながる。

児童生徒に質の高い読書推進活動を実施するためのスキルを持った人材の確保は、大変重要な課題だと考える。

次年度の契約について、契約期間も含めて検討して

いただけるかどうか所見を伺う。

**答** 教育長 学校図書館は、図書や資料を収集・整理し、児童生徒や教員の利用に供すること、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童生徒の健全教養を育成することを目的として設置しており、その運営に關しては、司書教諭が中心となって学校図書館の管理計画や読書指導計画などを策定しているところである。

また、学校司書は、学校図書館の運営に対して支援を行うことを目的として、図書の分類および整理、児童生徒への対応、図書の購入および廃棄、図書館の環境整備、読書イベントの企画実施などが主な役割とな

っている。

市は、学校司書の配置を平成25年度から業務委託により実施しているところであり、平成28年度からは各学校の実情に応じた業務の実施のほか、各学校図書館の課題に対する改善提案を受けられることを目的とし、学校図書館の運営に関する知識やノウハウを持つ事業者を広く公募するプロポーザル方式により選定した業者と随意契約し、業務を実施している。

小中学校司書配置業務の契約期間については、各学校図書館には司書の有資格者を配置することとしていることから、業者が変更になっても、取り組みに大きな影響はないと考えて

いるが、各学校においては、さまざまな事情があり、それらを承知している者が継続することが望ましいと考えることから、本年度の業務実績や各学校からの意見も踏まえて、契約期間について検討していく。



### 共同住宅の新築と既存住民との共生



ちとせの未来を創る会  
北山 敬太 議員

**問** 現在、末広地区に3棟の新築マンションが着工さ

れている。最近、狭い土地に建べい率いっばいの建物を建てる傾向が見受けられ、駐車場不足による路上駐車が増加が心配される。

この地区の生活道路は狭く、路上駐車が常態化する、除雪や緊急車両の通過、ごみの収集にも大きな影響を及ぼす可能性がある。今後このような建物が

建築される可能性が高いことから、さまざまな問題が顕在化する前に、適正な協議により解決したいと望むが、未然防止につながる取り組みを考えられないか伺う。

**答** 市長 市は現在、高さが10メートルを超える中高層建築物の建築に係る紛争の防止と居住環境の保全を目的として、千歳市中高層

建築物の建築に関する指導要綱を独自に定めており、建築主に対し、基本的に住戸と同数分の駐車場を敷地内および敷地外も含めて確保することを要請しているが、中高層以下の共同住宅については、現在のところ指導の対象とはしていない。しかしながら、市としては、近年、中心市街地など

において、建物の取り壊し等により、空き地が目立ってきており、今後、この空き地の高度利用が図られることが想定されることから、地域における健全な住環境を確保することを目的として、中高層以下の共同住宅などの建築について、平成29年度内を目的に要綱の整備を検討する。

JR千歳駅バスターミナルの待合

問 JR千歳駅西口バスターミナルの待合所が、非常に寒いとの利用者の声を聞く。一方、東口については待合所すらない。西口と東口間のバスレーンも横断できないことから、不便とする利用者の声が非常に多

い。これから厳冬期を迎えるが、新しいバス路線の多くが千歳駅経由であることから、長期的なバス路線の維持と利用者の増加を促すためにも、市民に使いやすく快適なバスターミナルとなるよう早急に改善策を講じていただきたい。

答 市長 JR千歳駅の待

合所について、市民アンケート調査によると、空間の拡張や寒さ対策等について改善を望む声が寄せられていることから、JR千歳駅周辺を再整備する際に検討しなければならぬ課題であると認識している。

千歳市交通戦略プランでは、交通結節点としての利便性や安全性、公共性に配

慮した整備をはじめ、くつろぎにぎわう空間の創出、市民や観光客が集う拠点づくり等、再整備に向けた基本方針を定めており、次年度は、待合環境の改善を含め、さまざまな課題を整理しながら対策を具現化するための基本計画を策定する。

なお、実際の整備については、財源が大きな課題と

その他の質問  
・情報公開と政策形成における市民参加  
・芸術、文化、スポーツ等の振興と世代間交流の場づくり



ちとせの未来を創る会 渡辺 和雄 議員

女性活躍社会

問 新聞報道に内閣府調査が掲載されており、「女性活躍社会道険しく・職場で平等は29%」とあった。

男女平等社会の構築と力強く叫ばれ出したのは、四半世紀ほど前からと、かなりの期間が経過している。現在、増えているものと思うが、市に関係する各種審議会・委員会での女性委員はどのような状況なのか、さらに女性委員の拡充を推

めていただきたいと考えているが、どのように考え進めて行くのかお伺いする。

答 市長 当市は、本年4月1日現在、市政の執行に伴い必要な審査や審議を行う附属機関等が59機関あり、705名の市民の方が、市政に参画している。

附属機関等における女性の登用率は、本年4月1日現在で、委員全体で34%、附属機関数で見ると、32機関、約54%の機関が、附属機関等の設置及び運営に関する指針で目標としている30%を達成している。今後のさらなる女性委員の拡充について、男女が共に参画し、意見が十分反映されることは大変重要なことと考えている。

交通安全教育施設

問 花園1丁目に所在する通称「交通公園」は、老朽化が進み、植栽されている樹木の整理も含め、駐車場の拡充など、大規模なリニューアルが必要と考える。

隣接地には、昨年リニューアルオープンした道の駅、水族館が所在しており、交通公園との連携・相乗効果

このため、第3次ちとせ男女共同参画推進プランにおいて、附属機関等の女性委員の登用率について、目標値の引き上げを行うこととしており、今後も、さまざまな機会を通じて、女性の参画拡大に努めたい。

を検討することも必要と考えるが、どのようにお考えか。

答 市長 交通公園は、開設後38年が経過し、全体的な老朽化が進行している。敷地内の樹木は、防衛省所管の行政財産であり、毎年、計画的に間引きするとともに、日頃の点検において、倒木の危険のある樹木などを発見した場合には、防衛省との協議を整え、速やかな対応に努めている。

駐車場は、10台程度の駐車スペースを確保しているが、自家用車での来園者が増加傾向にあり、適正な規模の駐車場確保の検討が必要なものと考えている。交通公園と隣接する道の駅等との連携、相乗効果に

については、期待できるものと考えている。  
地域のにぎわい創出や交流人口の増に資する施設となるためには、交通公園の特色を生かしながら、来園者が快適に過ごせる施設であることが不可欠であると考えており、遊具をはじめ、信号機等の設備の更新や場内道路の補修、トイレの改修、駐車場の確保等の検討を引き続き進め、交通公園の機能維持や利便性の向上を図る。

その他の質問  
・市道の安全対策  
・行政改革基本方針



日本共産党  
佐藤 仁 議員

移住・定住促進

**問** 千歳市は昼間人口比率の高いまちと言われ、雇用の場はそろっている。市外からの勤務者への移住のアプローチをどうやればよいのか、ニーズ調査に基づく分析を強めていくことが求められていると考える。アウトレットモール・レラ

には、市外からの方が50%働いている。昼間人口の方へのアプローチの強化を求めるが、い



無所属  
細見 正美 議員

空港機能強化が市民に及ぼす影響

**問** 道作成の「北海道における空港運営戦略」にお

かかろう。

**答** 市長 当市に興味・愛着を持ってもらい、移住・定住に導くためには、住まい周辺の環境が良いこと、子育て支援が充実していること、交通の利便性が高いことなど多くの魅力を情報発信することが必要である。

情報を発信する戦略として、まず、千歳を知ってもらい、千歳に来て魅力を直接感じていただき、最後に移住を決めていただくとした3段階のPRをして、市外からの通勤者の移住を促進していく。



陸上自衛隊高等工科学  
校生徒募集

**問** 陸上自衛隊高等工科学

学校については、1955年に自衛隊「生徒制度」が発足し、1963年から「少年工科学校」となり、2010年に現在の「高等工科学校」とされたそうである。

①陸上自衛隊高等工科学校について、どのような学校なのか。

②陸上自衛隊高等工科学校の生徒募集資料の配布などの取り扱いについて、市内中学校での実態調査を要望するがいかがか。

③教育長は、18歳未満の児童生徒が銃を持つことについて、どのような感慨をお

持ちか。それぞれ所見を伺う。

**答** 教育長 ①自衛隊法第24条に基づき設置されている学校であり、将来、自衛官となるべき者を養成する男子のみの全寮制の学校である。生徒は入校と同時に通信制高等学校に入学し、高等学校の卒業資格を取得できる。

②高等工科学校の進路情報については、公立・私立高等学校などの進路情報と同様に高等学校などからの依頼に応じ、募集案内などの配布、ポスター掲示などを行っている。

③高等工科学校では、一般教育や専門教育として電子機械工学や情報工学のほか、防衛基礎学を学ぶこととさ

れている。

このうち、防衛基礎学において小銃の射撃訓練等が国の判断により実施され、生徒および保護者に対しては、カリキュラムを説明し、理解いただいた上で入校していると考えている。



その他の質問  
・環境行政

や重要性が一層高まるものと認識しており、道に早期の事業実施を要請している。

道は、拡幅は新たに発生する交通量の状況等を見据え、延伸は用地取得等の課題について関係者との協議に取り組みとしており、石狩地方開発促進期成会と連携し、早期事業化を要望していく。

て、乗降客数は2030年に3500万人、来道外国人数は2020年に500万人、国内・国際航空貨物合計は将来的に30万吨などを目指すとしている。これらは新千歳空港を中核として展開されることは論を俟たない。航空路線の増加、LCCの拠点空港化、貨物の陸上輸送増大等

が見込まれるが、市民生活に影響するJR高架延伸と道道泉沢新千歳空港線の整備および泉沢支笏湖公園線3.5キロメートル区間の接続について対応策を伺う。

と踏切の遮断時間が長くなるなどの影響が懸念される一方、鉄道高架には交通渋滞や踏切事故の解消等が期待される。今後、国土交通省やJR北海道から情報収集を行い、増便による踏切遮断時間、踏切通過交通量などを調査・研究する。

道道泉沢新千歳空港線の拡幅と延伸は、その必要性

市の玄関 千歳駅前広場の整備

問 バス専用道路の設定により、バスターミナルと千歳駅間の移動の不便さが指摘されて久しい。遠回り、段差、交通弱者、バスレーン横断が後を絶たない等、利便性向上や安全対策の観点からも早急な対策が必要である。

さらに、昭和58年に千代田町連合町内会と駅前通り振興会が駅前広場に寄贈した樹齢380年のおんこの樹（イチイ）は存在せず、その樹の愛称である「仲よしの松」の記念石碑だけが残されている。千歳駅は市の玄関であることから、ふさわしい駅前広場整備が求められているが所見を伺う。

答 市長 バス専用道路については、千歳駅西口バスレーンを自由に横断できる整備を望む声が多く寄せられている。市は、平成28年3月策定の千歳市交通戦略プランで再整備の基本方針をまとめ、移動導線の見直しや交通手段別の再配置などを掲げ、バスレーンを広場の一部として駅周辺を回

遊できる案としている。平成29年度には、基本計画の策定、その後の整備は、財源の目途が付き次第、具体的準備を進めていく。石碑は、イチイの寄贈に合わせ昭和58年に設置されたもので、「仲よしの松」と命名され市民に親しまれていたが、平成7年に枯死したため寄贈者の了解を得て

撤去し、似たようなイチイを探すものが見つかることができず、現在に至っている。今後、石碑を含めたそのあり方について検討していく。

- その他の質問
- ・ 国際空港の指定
  - ・ 千歳駅高架下バス停の景観改善



自民党議員会 岡部 いづみ 議員

子供の生活習慣病

問 ①肥満や生活習慣が原因の病気が低年齢化している。千歳市の子どもの健康

の状況についてどのような方法で把握しているのか。また、現状はどうなのか。②他市では、生活習慣病予防対策の一環として、5・6年生を対象に血圧、血液検査などのキッズ健診を行った。深刻な状況にならないための予防策としての健康診断について、どのよう

にお考えか。 答 市長 ①乳幼児の健康診査は、4カ月、10カ月、1歳6カ月、3歳の計4回実施している。この健康診査では、身長および体重の測定や尿検査、小児科医師および歯科医師の診察、発達相談や栄養相談を行っており、この結果を通して、健康状態を把握している。 小中学校では、年に1回、健康診断を実施しており、身長および体重の測定や視力検査、聴力検査、心電図検査、尿検査を実施しているほか、学校医等による内科、耳鼻科、眼科、歯科の検診を行っており、その結果から、児童生徒の健康状態を把握している。 子どもたちの健康状態の

現状については、平成27年度の3歳児健康診査において、肥満は4人で受診者全体の0.4%、やせ過ぎは3人で受診者全体の0.3%となっている。また、尿検査を受けた614人のうち12人から尿潜血反応があり、その後の精密検査において疾病は発見されていないが、全員が経過観察となっている。 小中学校では、各学校に配置されている養護教諭等が健康診断の結果や健康状態を把握し、必要な対応を行っている。 ②定期的に子どもの健康状態を把握することができ健康診断は、子ども自身や保護者にとって、生活習慣病予防の動機づけとなる有効な手段であると考ええる。

問 4月に発生した熊本地震では、耐震化が進んでいる体育館において、外壁や非構造部材で古い工法のものや経年劣化した物が落下するなどの被害があり、避難所としての機能に支障が生じた。 千歳市のほとんどの学校が指定避難所とされているが、避難所機能の確保について、現在の状況と、今後の計画について伺う。

答 教育長 市では、耐震化が必要な14校の小中学校において、校舎など構造物の安全性を確保するための耐震化工事を平成25年度に完了した。 非構造部材の耐震化の現状は、平成25年度に全ての小中学校の屋内運動場の調査、点検を行い、平成26年度から平成30年度までを計画期間とする小中学校非構造部材耐震化事業計画を策定し、平成27年度に7校、平成28年度に6校の耐震化工事を行っている。 今後、計画に基づき、平成29年度に6校、平成30年度に5校の耐震化を行うこととしており、平成30年度に全ての耐震化が完了する予定である。

- その他の質問
- ・ テニスコートの予約システム
  - ・ 女性職員への健康支援の取り組み



自民党議員会  
五十嵐 桂一議員

### 公共施設等総合管理計画

**問** 給食センター整備について、新築移転も含め検討中である。北陽小学校の分離校建設と比較し、給食センターの必要度が勝つているとは思えない。

学校教育法では、学校設置義務が市町村にあるが、学校給食法は努力義務である。6学年40学級で運営する北陽小学校は有数のマンモス校であり、将来的に他施設に転用可能であれば、

分離校建設をためらう理由はない。

30億円以上必要とされる給食センターだが、ほぼ同額で分離校建設も可能である。優先順位はどちらが上か。

**答** 教育長 北陽小学校については、平成23年度の増築時に分離新設の可能性などを検討した結果、分離校は開校後、数年後には学級数のピークを迎え、長期間にわたり適正規模の学級数を維持することが難しく増築で対応することとした。

給食センターについては、学校給食衛生管理基準に対し適合していない点があるなどの課題があり、現学校給食センターではスペースを確保できないことなどから新たな整備を検討するこ

ととした。  
北陽小学校の教育環境の維持への対応や、学校給食センターの整備は、いずれも重要な教育課題と考えている。



### 姉妹都市交流

**問** 千歳小学校とアンカレジ市サンドレイク小学校との交流事業において、千歳小学校の児童の自己負担額が26万円である一方、同時期に行われたアンカレジ市ミアーズ中学校訪問の中学生の自己負担額が13万円と大きな差がある。

小学生引率の先生は休暇を取り自己負担で参加、一方、中学生引率の先生は公務扱いで自己負担はない。

千歳小学校とサンドレイク小学校との単独校交流を、ミアーズ中学校交流事業方式に切り替え、多くの子供たちを相互交流させることで姉妹都市交流発展のさら

なる発展につながると考えるが、市長の考えを伺う。

**答** 市長 サンドレイク小学校との交流は、千歳小学校の児童数が減少傾向にあることなど、単独校としての事業継続が難しくなっていることや、他の小学校の児童が希望しても参加できないという課題があることから、平成29年度からサンドレイク小学校との相互訪問交流を、千歳小学校を中心として対象を市内すべての小学校とし、拡充を図ることで検討を進めている。

### その他の質問

・空港の民営委託（民営化）



自民党議員会  
山口 康弘 議員

### 外国人に対する医療体制

**問** 増加傾向にある訪日および在留外国人に対する医

療体制の整備について問う。

①千歳市民病院での言語に対する対策。②多言語対策として患者の母国の大使館や領事館の活用。③看護師の精神的支援。④医療費の支払い対策。⑤宗教上の理由による食事の対応。⑥医療事故等の対応。⑦市内各医療施設での外国人患者に対する対応。⑧外国人患者

に対する各医療施設間連携。⑨在留外国人に対する各種医療費制度の周知。

**答** 市長 ①深夜等の通訳対応は、電話通訳サービス「メディフォン」を導入し、現在、英語・中国語・韓国語の3カ国語が、本年7月から10カ国語対応となる。②患者の家族、友人等の通訳が困難な場合は、大使館

や領事館に通訳者の派遣や紹介を依頼するなど必要な調整を行う。③通訳者の介入やメディフォンの利用、他職種のサポートなどにより、看護師の負担軽減に努めている。④家族等からの送金、分割納入手続き等、個々の経済状況等に合わせた対応を行っている。⑤個別に食材や味付けを変更す

る等、可能な範囲で異文化・宗教に配慮し提供している。⑥救命処置を最優先し、原因究明し患者や家族へ説明を行う。提起された訴訟は、日本人患者と同様の対応となる。⑦医師の英語等による対応の他、翻訳アプリの活用や筆談等で対応している。医療費は現金やクレジットカードの利用により、

未払いは発生していないと聞いている。⑧千歳医師会によると、現時点で通常診療の中で対応していると聞いている。⑨市が窓口の医療給付制度は、平成29年度予定の市ホームページの多言語化による情報提供に努めるなど、外国人居住者への周知を図っていく。



自民党議員会  
山崎 昌則 議員

防災行政無線のデジタル化整備

**問** 本事業について、次の6点を質問する。①事業の進捗状況と今後のスケジュール。②既存野外スピーカーより高性能なスピーカーはないのか、今回の整備でどのように改善できるのか。③未設置地域は解消できるのか、防災無線をどのように配置するのか。④ハザードマップで指定の避難地域世帯に戸別受信機を設置すべきではないか。⑤副手段

不審者対策

**問** 昨今、増加傾向にある不審者情報について問う。  
①現状の見解。②不審者のメール配信サービスに犯人が捕まったなどのフォロワー情報の追加。③電子タグやGPS機能付きの携帯端末等による児童見守りシステム

の導入。④犯罪の未然防止や登下校時以外の犯罪対応策として「こども安全たん犬隊」の導入。  
**答** 教育長 ①不審者情報の件数は、多少、増加傾向にあると考える。②犯罪に関する情報は警察が把握し、事前に通知を受けることはできないため、フォロワー情報の配信は、難しいものと

考える。③見守りシステムの導入は、児童の安全確保に有効であると考えられる一方で、個人情報の管理上の課題や多額の経費を要することなどから、導入は難しいものと考ええる。今後、他市の動向などを調査研究していく。  
教育部長 ④登下校時以外の時間帯については、現在、

東京オリンピック聖火の千歳誘致

**問** 2020年東京オリンピックの聖火経路を千歳市に誘致することで、市の知名度アップにつながり、経済・観光・スポーツ等いろいろな効果をもたらすと考える。オリンピック聖火は一生に一度、直接見ることでできるかできないかである。市民が聖火ランナー等に参加し、千歳市内を通過し、盛り上がり上げていただきたいと念願する。聖火が市内を通過することに対してどのように考えるか、これまでに何か取り組んでいることがあるか。  
**答** 市長 当市は、1964年に東京で開催されたオリ

ンピック競技大会で、国内聖火リレー第4コースに指定され、市民の盛大な歓迎の中で聖火を迎えた歴史がある。2020年に再び聖火を迎えることができれば、大変栄誉であり、市民が参加できる大きなステージとなり、まちの知名度の向上や市民スポーツの機運の高揚、交流人口の拡大が期待される。  
大会組織委員会によると、現時点でどのようなコースで聖火リレーを行うのかは決まっていないとのことであり、引き続き情報収集に努め、誘致に向け働きかけを行っていく。

その他の質問

- ・自衛隊体制強化
- ・水明郷駐車場へのトイレ設置



自民党議員会  
末村 友幸 議員

### 高齢化社会対応

**問** 千歳市も急速に高齢化しており、仕事、ボランティア活動、趣味活動、福祉を含めた総合的対応が必要である。特に、高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進のためには、仕事、ボランティア活動、趣味活動を同時に行い、かつバランスを取りながら歳を重ねていく高齢者意識の普及が必要である。

**答** 市長 介護予防では、老人クラブの会員が介護予防リーダーとなり、町内会で介護予防サロン事業を行うなど、お互いに協力しながら実施しており、関係団体や地域の高齢者の連携につながっている。介護予防事業の推進に当たっては、町内会や老人クラブなどが連携し介護予防サロン事業を実施している。また、東区地域包括支援センターの地区住民との座談会や向陽台地区における事業者間連携や地域住民との交流を図る「あつたかねつと向陽台」が発足するなど、関係団体等の連携した取り組みも進

められている。  
市は、今後も高齢者が地域で安心して暮らせるよう、地域の住民等が互いに支え合い、安心して快適に暮らしていくことができる地域づくりを進めていく。

### 教育行政

**問** 子供が学校以外でスマートフォンやゲーム、テレビに費やす過大な時間を抑制し、必要な学習習慣を身につけるためには、民間教育事業者との連携も有効だと考えるが、見解を伺う。

**答** 教育長 本年度の全国学力・学習状況調査では、学習習慣に影響のある生活習慣の設問において、市内小学校は、「ゲームやスマートフォン」の使用時間が過去4年間で最も高くなっている。中学校は、「早寝早起き朝ごはんの習慣は身に付いているが、ゲームに費やす時間が長く全国を大きく上回っている。」ことなどから、家庭学習の時間、家庭でのコミュニケーションなどが不足していると認識しており、学習習慣を定着させるためには、生活習慣も含め、家庭と連携した取り組みが重要と考えている。

これまでも教育委員会だけでなく「からふる」や学校だよりのなどにより、適切な生活習慣や学習習慣の形成に向けて、家庭への働きかけなどの取り組みを行って、子どもや保護者が当事者意識を持った上で取り組む必要があることから、千歳市PTA連合会とこれらの課題を共有し、平成28年度からは、千歳市PTA連合会が千歳市家庭生活宣言推進委員会を立ち上げ、より具体的な取り組みに向けて検討を始めた。

### その他の質問 行政改革

## 常任委員会

### 行政視察報告

#### (先進自治体視察)

千歳市議会は、毎年、各常任委員会ごとに先進自治体などの行政視察を実施しています。

総務文教常任委員会および厚生環境常任委員会が、それぞれ昨年11月に実施した行政視察の概要を掲載します。

なお、行政視察報告書の全文は、市議会ホームページでご覧いただけます。

## 総務文教

### 常任委員会

◆ワンストップサービスについて

11月8日(火)

(福岡県 大野城市)

#### 【目的】

当市は、窓口業務の民間委託を検討しており、先進的な取り組みを調査した。

#### 【要旨】

大野城市は、市民満足度の向上を目的に、市長のトップダウンでワンストップサービスを開始し、次の3事業に取り組んでいる。

- ①週末窓口サービスを実施し、証明書の発行、届出、手当の申請など、土日の利用を可能にした。
- ②コールセンターの開設に伴い、市民対応をマニユア

ル化し、ワンストップサービスを実現した。

- ③総合窓口「まどかフロア」を民間委託により開設し、申請用紙の一元化や簡易申請端末機を導入している。

調査を通じて、当市も、一定程度の費用をかけてでも、市民満足度の向上を重視し、取り組みを進めることも重要であると感じた。

## ◆新庁舎建設について 11月9日(水) (熊本県 玉名市)

### 【目的】

当市が進める第2庁舎建設の参考とするため、平成27年に新庁舎を開庁した玉名市を調査した。

### 【要旨】

玉名市が庁舎建設に至った経緯は、旧庁舎の老朽化等が進み、駐車場不足も慢

性化していたこと、1市3町による合併協議で新庁舎建設が合意に至ったこと、合併特例債が利用可能だったことが背景にある。

建設に当たり、基本構想の決定に際して数回にわたる市民の意見を聴取し、競争入札により経費を15%削減したことなど、参考とすべき点が多くあった。

当市の第2庁舎建設に当

たつては、現庁舎と第2庁舎の間の利用しやすい動線の確保や、市民目線で使いやすい庁舎整備となるよう、議会としても取り組む。

## ◆熊本地震の被災状況および対応について 11月10日(木) (熊本県 熊本市)

### 【目的】

活断層のずれが原因の熊

本地震の災害対応等を調査するため、訪問した。

### 【要旨】

このたびの地震により、熊本市は甚大な被害を受けたが、本来、災害が少ないことを企業誘致や移住のセールスポイントとしており、災害への備えも一通り行い、事前防災の必要性も認識していたが、結果的に十分ではなかった点は、大いに反

省しているとのことである。今後は、この教訓を将来へ語り継ぐ必要性を感じ、復興の過程を発信したいとのことである。

熊本市は、当市と人口規模等の違いはあるものの、熊本市の事前の災害対策と発災後の課題、チェック機能等を参考として、当市の危機管理施策に生かしたい。

## 厚生環境 常任委員会

## ◆「患者と近親者に配慮した医療設備」について(亀田総合病院の現地視察)

11月7日(月)  
(千葉県 鴨川市)

### 【目的】

国内でも例を見ない最上階に霊安室を配置した背景と、千葉県内でも有数の医療システム体制の現地視察。

### 【要旨】

患者と家族の想いを優先し、地域振興を考慮した大胆な病院経営など、民間病院ならではの斬新な施策が成功し、まちづくりにも貢献している事例。公立病院との大きな違いは病院の意思決定が

早く、他病院との差別化を図れること。

その信念は「ALWAYS SAY YES!」、絶対にNOと言わない。優れたマネージメント力があるリーダーがいて、常に社会の要請に応えるとのことである。「天国に一番近い霊安室」は視察の主目的で、家族の方が死を受け入れる場所、天国へと旅立つ故人を見送る最高の場所であると感じた。これからは、温かみと心が通うような霊安室が必要と思われた。

## ◆「手話、点字等の利用を進めて、障がいのある人もない人も絆を深め、互いに心を通わせるまちづくり条例」について

11月8日(火)  
(千葉県 習志野市)

### 【目的】

手話言語条例としては、全国で2番目の制定となった習志野市の形成過程と現況を視察。

### 【要旨】

手話だけではなく、全ての人が必要とする情報を取得する権利を尊重する「情報保障」を取り入れているところに先進性を感じた。

高齢者や弱視者のために12ポイント以上のゴシック体を用いるなどの実践に感心。

このような条例をつくるために一番必要なことは、障がい者に対する配慮で、健常者では気が付かないことがあることなど、そういった配慮を条例に盛り込むことが良い条例をつくる基になると感じた。

## ◆介護支援用ロボットスーツについて(湘南ロボケアセンターの現地視察)

11月9日(水)  
(神奈川県 藤沢市)

### 【目的】

介護、医療等の多くの分野で最先端のロボットの研究・開発を行い、日本でも有数の規模を誇る施設の現地視察。

### 【要旨】

ロボット技術は日本の最も得意とする分野であり、サイバーダイイン社のHALは、まさに最先端技術を医療と介護へ実用化したものである。装着型ロボットスーツは、装着した人の意識により、身体の動きをサポートし、高度で進んだ技術である。当市は、まだHALを導入した介護施設や医療機関

は無いが、HALによる治療が一部で保険適用し、保険適用外の旧HALは、道内13の医療機関が試験的に導入、患者のリハビリなどに補助的に利用している。今後は、介護ロボット導入についての補助事業等も活用し、また、保険適用を追い風にして導入を進めたい。現在、介護職員の4割は腰痛に悩んでいるといわれ、装着に時間を要さず本体も軽量化したスーツは、まさに最適である。ただ、レンタル金額は1台当たり月額10万円からで、人手不足に悩む介護サービス事業者が簡単に導入できるものではないと感じたが、補助などを活用できれば当市としても有効なものと思われた。

## 本会議・各委員会の議員出欠状況

平成28年1月1日から平成28年12月31日までの間に開催された①本会議（定例会・臨時会）、②特別委員会（予算・決算・補正予算特別委員会）、③常任委員会等（総務文教・厚生環境・産業建設常任委員会及び議会運営委員会）の議員出欠状況（回数）を次のとおりお知らせします。

なお、議員出欠状況の詳細については、市議会ホームページでご覧いただけます。

（議席番号順）

議席番号・議員名	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等		議席番号・議員名	①本会議		②特別委員会		③常任委員会等	
	出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席		出席	欠席	出席	欠席	出席	欠席
1 今井 俊雄	25	0	12	0	13	0	14 神田 聖子	25	0	15	0	16	0
2 大山 益巳	25	0	14	0	16	0	15 田口 博	25	0	14	0	37	0
3 末村 友幸	25	0	15	0	13	0	16 岡部いづみ	25	0	14	0	13	0
4 落野 章一	25	0	14	0	13	0	17 山崎 昌則	25	0	16	0	39	1
5 北山 敬太	25	0	16	0	16	0	18 佐々木雅宏	25	0	14	0	39	1
6 松隈 早織	25	0	16	0	39	1	19 高秀 政博	25	0	14	0	16	0
7 渡辺 和雄	25	0	14	0	37	0	20 米内山淳二	25	0	14	0	40	0
8 山口 康弘	25	0	15	0	40	0	21 古川 昌俊	25	0	13	0	16	0
9 島原 長久	25	0	14	0	13	0	22 坂野 智	25	0	15	0	15	1
10 松倉 美加	25	0	14	1	38	2	23 佐藤 仁	25	0	16	0	39	1
11 五十嵐桂一	25	0	15	0	37	0	24 細見 正美	24	1	12	0	15	1
13 宮原 伸哉	24	1	15	0	16	0	25 香月 正	25	0	14	2	-	-

（注1）②と③の回数については、各議員の特別委員会、常任委員会および議会運営委員会への委員の就任状況により異なります。

（注2）香月正議長（平成27年6月3日付議長就任）は、申し合わせにより、議長就任時に総務文教常任委員会委員を辞退しています。

（注3）議席番号12番は欠員。

（注4）平成28年1月1日から平成28年12月31日までの間、臨時会の開催はありません。

## 議会事務局からのお知らせ

### ★議会の予定

平成29年第1回定例会は、3月1日（水）から開会する予定です。正式な日程は、議会運営委員会で決まりましたらホームページやポスターでお知らせします。

また、新たにスマートフォンやタブレットに対応した「千歳市議会中継ライブ配信」を実施していますので、ぜひアクセスしてください。  
<http://www.ustream.tv/channel/4xm2da7Wfwq>

### ★表紙を募集しています！

「市議会だより」（年4回：2・5・8・12月発行）の表紙を飾る写真や絵、イラスト等を募集しています。

千歳の四季や季節の行事をイメージできるものがありましたら、ご応募をお待ちしております。

（問い合わせ先）  
 千歳市議会事務局 総務課 調査係  
 TEL 0123-24-0791（直通）

### ★点字・音声版市議会だより

目の不自由な方のために、市議会だよりの内容を点字・録音したものを作成しています。



希望される方は、次のところまでお問い合わせください。

（問い合わせ先）  
 千歳市総合福祉センター2階  
 点字図書室 TEL 0123-27-3921

## 編集後記

第4回定例会および各常任委員会の会議内容のあらましは、本号に掲載しておりますが、今定例会は、議員提案された市議会議員定数の2議席削減案が採決されました。この議案は、市民の皆さんの関心の高さがうかがえ、30人以上の傍聴者がいらつしやいました。採決の結果、賛成12名、反対11名の僅差により2議席削減が可決されました。市議会議員としての資質、責任がますます問われることとなります。今後もしっかりと自覚を持って邁進してまいります。これからも議員に議会に対し、御指導を賜りますように心よりお願いいたします。

（委員長 山崎 昌則）

### 議会報編集委員会

委員長 山崎 昌則  
 副委員長 渡辺 和雄  
 委員 山口 康弘  
 委員 大 山 益巳  
 委員 松隈 早織  
 委員 田口 博